

# ACE Exchange Student the 1st Report

記入年月日:2024年10月13日

氏名:佐渡友華 出身校:静岡英和女学院 出身県:静岡県

留学先 州名:コロラド 都市名:クレイグ

留学先 学校名:Moffat County High 学年:Senior

学校について(学校生活、設備、授業、教師、学友、その他):トイレは綺麗で、行きたい時快適にお手洗いに行けます。友達については、ホストシスターの歳が近いめほとんどホストシスター繋がりです。ホストシスターはモルモン教で、お酒やタバコはもちろんカフェイン等も制限している宗教なのでその友達も信用できます。この州はモルモン教の方が結構多いらしく、モルモン教、またはその友達であれば基本危険なことはないと思います。少し感じたこととしては、スポーツ系の部活に入っている人は危ない感じがしました。もう1人の日本人留学生の子によると、パーティでお酒を出している人もいと聞いたらしいので気をつけるべきだなと感じています。授業については、初めの頃歴史が1番厳しいと感じていましたが、最近少し慣れてきましたし、学校が終わったあとの flex(全員必須)という時間に歴史の flex を取れば宿題も何とか追いつけるのでものすごいストレスという訳でも無くなってきました。農業の授業はとても難しいとは思っていませんが、課題が多く、また課題の一つ一つの配点が大きいため気を抜くとすぐに B になっちゃうので苦戦していると言えるかもしれません。またビジネスの授業は優秀な友達がいるので宿題は基本出来ますが、テストで毎回平均7個ぐらい間違えてしまうのでもう少し勉強しなければな、と感じています。先生方について、どの授業の先生方もとても優しく接してくれます。わからないところを聞いたら嫌な顔せず教えてくれますし、とても贅沢な留学生活を送らせて頂いていると感じています。また日本との違いとしては、先生方がとても頻りに褒めてくれるところです。特に芸術ですね。音楽と美術の授業を取っているのですが、良いと思ったものに関してはすごく褒めてくれますし、微妙だったとしても何かしら美点を見つけて褒めてくれます。私が元々いた学校ではそんなことはそうそうなく、自己肯定感は成績によって初めて得られるという感じだったので、こっちに来てからものすごく褒められるのは嬉しいことです。褒めることについて言えば、学校の生徒たちもすごくお互いのことを褒め合います。かなり頻りに I like ur outfit!とか U'r so pretty!って言うのも嬉しいところです。ただ自信について言うと、留学に行く自信がつく、というのはそうでも無い気がします。アメリカ留学で自信がつくと言っている人はアメリカの本質に触れられていないな、と感じます。アメリカは本当に色々な人がいて、自信がある人もない人もいます。日本よりは自信のある人が多いとは思いますが、私個人で言えばだいぶ回復したものの自信は少し無くなりました。というのも私は周りと自分の実力を比較して自信をつけていたタイプだったので、こちらに来てから周りより出来ないことが多く、最初は自信をなくしました。でもこれはとても良い事だと感じています。自分のできないことを知ることで、自分の成長に大きく繋がるだろうと期待出来ると思います。

どんな教科を取りましたか? :学校のプログラムとしては1日に4教科授業を受ける方式で、1教科あたり1時間半、教室は全て生徒が移動するなど、日本の大学に近いものを多く感じます。違うところとしては、お昼時間の前に Advisory という日本で言うホームルームクラスのような時間があることや、全ての授業が終わったあと Flex という補習のための時間があることですかね。

Blue day(月、水)と White day(火、木)(スクールカラーが青と白なため基本こういうのは青と白で分けられてます。)があり、全部で8教科取る仕組みになってます。私は Blue day に代数、発展英語(文芸)、農業基礎、音楽(授業名は Choir、コーラスの意味で、楽器等はやらず歌に専念しているクラスです。)が入っており、White day にビジネス基礎、生物、発展アメリカ歴史、2D 表現(美術)が入っています。

教科は私が選んだと言うよりは、私の希望と日本での成績、初日の英語テストの結果に合わせて事務が選んだ、という

感じます。そのため歴史は発展に入れられてしまったのですが、正直宿題が多く大変なため基礎に変えれば良かったとも感じました。でもこういう少し辛いことはあった方が自分のためだとも思ったので、変更はせず何とかやっています。

各教科の先生について:先程述べた通り、どの先生もとても優しく接してくれます。

数学についてはあまり困ることが無いため代数の先生とはあまり接していませんが、授業中は頻繁に生徒の質問を回っていますし、教え方も丁寧な先生です。

英語の先生は私の Advisory の先生でもあり、教科の分からないことではなく学校の事として分からないことがあった時もこの先生に聞いています。とても優しい先生で、誰にでも分け隔てなく接している様子をよく見ます。

農業の先生は若い先生で、今年信任だそうです。基本無表情な先生なので最初は少し怖い先生かと思いましたが、無表情なだけであってとても優しく、基本いつも分からないことは無いかと聞いてきてくれます。

音楽の先生は少し厳しい先生ですが、私は留学生というハンデがあるのでとても優しく接してくれます。厳しいと言っても運動部やチアのコーチほどではなく、ただ音楽に真面目な方だな、という印象です。

ビジネスの先生は成績については少し厳しいところがあり提出物が遅れると減点されますが、人としては優しい方です。ビジネスでは優秀な友達がいるため基本先生に接することはないのですが、授業ではグループアクティビティが頻繁にあり楽しいです。

生物の先生はとても優しく気さくな方で、質問には喜んで答えてくれます。この間街のハンバーガーショップで働いているのを見た時は先生が副業を持てることに少し驚きましたが、先生の雰囲気はまさにそれって感じでした。

歴史の先生は表情が曇っていたので怖い先生かと思っていましたが、私が沢山質問してもいつも答えてくれるので優しい先生です。

美術の先生はめちゃくちゃ褒めてくださる人です。腕に植物のタトゥーが沢山入ってる方なのですが、この間桜を描いたら「写真撮っていい？これ新しいタトゥーにする！」と言われてその思い切りの良さに驚いたものの嬉しかったです。良いと思った作品はとことん褒めてくださるので、こういう人が芸術の先生になるべきだな、いつも思います。芸術ってそんなに大したものではなくて、いかに人の心に入り込めるかだと思ってるので、真面目な芸術の先生より感性豊かな芸術の先生が求められるのではないかと、思います。

---

あなた以外に学校には日本人或いは留学生はいますか?:他に日本人留学生が一人いますがその他の留学生については分かりません。お互い普段は英語で話し、たまに内緒話をする時日本語で話しています。

---

あなたの現在の感想を述べてください:田舎の小さな町のため治安は日本と同じくらい良く、女性一人で散歩するのも問題ありません。優しい方々に囲まれて安全な街で留学生活を送れてとても恵まれていると感じています。

アニメが好きな子も多く、自分の好きなものを好きな人が国境を越えても沢山いると知れるのは嬉しいです。贅沢を言えばホストシスターにもアニメを好きになって欲しかったのでいくつか紹介しましたが、ほとんど響かず、ずっとティックトックを見ているのでそこは少し残念でもありました。

ただここに来て感じたことは、歴史は広まりにくいということです。アニメが好きな子、日本が好きな子は沢山いますが、そういう人たちは日本の芸術が好きなんです。日本の歴史を知っている子は当たり前ですがほとんど居ません。ホストファミリーは、ホストファザーが日本に留学していたこともあり少しばかり事象を知っていますが、やはり本質は難しいですね。私は水木しげるが好きなのですが、こちらで知っている人は見たことないです。元々伝統を守ることにあまり意義を感じていませんでしたが、留学してその重要さに気付かされました。芸術はともかく、歴史の本質というのは海外へは全くと言っていいほど広まりません。特にアメリカは歴史が浅いため歴史の長い国の歴史にはほとんど興味を惹かれないのでしょうか。だからこそ自国の人間がきちんと後世に伝えなければいけないのだと気づきました。

ここに来て感じたことは、アメリカ(アメリカ人ではなく国自体)は勝利というものが大好きだなということです。だからこそ負け戦だった日本の戦争の歴史にはあまり興味が無いのかなど。と言うよりは、日本の戦争の話はアメリカ人にとっては責められているように感じるのかもかもしれません。普通に面白いので知って欲しかったというだけでしたが。

また私が1番感じたアメリカと日本の違いとしては、家族の仲の良さです。こちらではByeの後ほぼ確実にLove youと言っていて、知ってはいたもののやはり驚きました。結果的にこちらでは家族が好きというのは当たり前で、家族が嫌いと言うと余程問題を抱えているように扱われる見たいです。言霊の重要さを感じました。それと様々なシステムが効率的で無駄が無いため、一人一人が余裕を持って生きているようにも感じます。無駄なことが育む教養もありますが、無駄なことが蝕む余裕もあるな、と気付きました。それが国民の幸福度にも繋がるのだろうなと。またアメリカは全体的に相手を上げる文化で、日本は全体的に自分を下げる文化であることにも原因があるのかな、と思いました。日本では自分の子供を下げて相手の子供を褒めますが、アメリカでは自分の子供を最大限に誇って、相手の子供も褒める、という感じ。アメリカのお互いを褒めまくる文化は日本にも欲しいところだな、と感じます。

またお菓子について、全体的に大きいし甘いです。でも美味しいです。元々甘いものがかなり好きなのでこちらのお菓子のグラニュー糖ガッツリな感じはなかなか好きです。でもホイップクリームはそんなに好きじゃないので、何でもかんでもホイップクリームが多くてそこは微妙なところ。です。

それと教育で扱うトピックについてですが、日本と少し違うところがあるな、と感じました。日本語に翻訳しても普段使わない日本語だったりすることがよくあります。

翻訳については、初めの頃意地を張って全く翻訳せずにやっていたのですが、宿題は絶対に翻訳した方がいいです。翻訳して日本語に触れることで英語の伸びが遅くなるのではと思ってましたが、日常会話でそれ以上に英語に触れるので基本問題無いです。というか翻訳せずに宿題に取り掛かろうとするととりあえずとてもストレスがかかります。理解に時間がかかるので。分からない単語だけ訳すとかではなく、全体で翻訳をかけてふんわりと意味を掴んでから取りかかるべきです。特に歴史で出される大量の資料は読んでたら真面目に1週間かかるので翻訳した方がいいです。しかも翻訳しても結局書き込む時にその日本語の文章とマッチする英語を探すので、自然と英語の文章を理解するのも早くなります。

食事について、ある1日のメニュー例をあげてください。

朝 食:オートミールパンケーキ(学校で無料で配られているもの)

ホームステイでの昼食:基本的に冷蔵庫から何か探して食べる、基本は残り物。たまにファストフード。

学校での昼食:オートミールヨーグルトのようなもの(学校で無料で配られているもの)

夕 食:ステーキとサラダ

学校でのお昼ご飯はどうしていますか?お弁当?または?:基本は学校で無料の昼食が提供されていて、それを食べています。たまに友達が外に食べに連れて行ってくれたりもします。

休日はどうのように過ごしていますか?:遊ぶ予定のない日は家でのおんびりと映画を見たり絵を描いたりしています。ホストファミリーがユタやアイダホに旅行に連れて行ってくれたりもしました。

あなたの住んでいる町について教えてください。人口が少ないことと、モルモン教の人が多いためとても安全な地域です。女性一人でも安心して出歩けます。

あなたのホストファミリーについて書いてください:私個人の部屋も用意してくれてますし、家では基本自由に過ごさせてくれるので、とても良い方達です。最初はここまで良くしていただいていた方がいいのかと戸惑いましたが、最近はそれに慣れてしまってきたのが悩みどころでもあります。本当に良くしてもらっているので、いつも感謝を忘れずに過ごしたいです。今は猫2匹と、つい先日プードルの子犬もお迎えしました。動物が好きなのでとても嬉しいです。